

「2020年東京オリンピック招致にかんするテレビ報道の共振性」

『教養諸学研究』151（2023）

補足資料

井美奈子・中村理

内容

補足 1.	分析対象とした番組と表 1 について.....	1
補足 2.	下位争点を先に新聞から抽出した理由について	1
補足 3.	記事の解釈的要素をパッケージに集約するプロセスについて	2
補足 4.	「アクター」変数について.....	2
補足 5.	コーディングの信頼性について.....	3
補足 6.	表 8 の放送時間順位を下位争点ごととした扱いについて	4
補足 7.	コーディング・マニュアル.....	4

補足1. 分析対象とした番組と表 1 について

対象番組について補足しておく。本研究は阪口（2014）と同様に番組を選択した。すなわち、平日の夜間に放送される報道番組で、放送時間が1時間程度の4番組をNHKと民放キー局の中から選び、分析対象とした。民放ではほかに、ニュースJAPAN（フジテレビ）とワールドビジネスサテライト（テレビ東京）がある。しかし、ニュースJAPANは放送時間が25分程度と短く、ワールドビジネスサテライトは経済ニュースが中心である。そのため、対象番組からは除外した（以上、阪口2014に同じ）。

本編の表1についても補足しておく。NEWS ZEROでは9月6日および13日（いずれも金曜）にあたる放送の開始時刻が実際には深夜0時を超えていたが、本稿内では便宜上それぞれ6日および13日として表記した。放送時間については例外が2つある。1つ目はNEWS ZEROで、9月6日および13日の放送時間が1時間00分だった。2つ目はNEWS23で、9月6日および13日の放送時間が0時間45分だった。

補足2. 下位争点を先に新聞から抽出した理由について

本研究では先に新聞から下位争点を抽出した。これには4つの理由がある。1つ目の理由は、コーディングの主な記録を下位争点単位（本編2.3参照）としたため、単位を見出すためには事前に下位争点を得ておく必要があったからである。2つ目の理由は、新聞のテキスト

トデータはテレビの音声データに比べて扱いやすく、体系的に下位争点を見出す作業に向いていたからである。3つ目の理由は、本研究の対象とするテレビが平日10日間のみであるため、この期間にテレビ報道ですべての下位争点が出尽くさないことに備えたからである。4つ目の理由は、このように種別の異なるメディアから横断的に下位争点を抽出することで、より汎用的なものが得られるからである。

次に、新聞社の選択理由を述べる。日本の2大紙（読売新聞、朝日新聞）のうち1社（朝日新聞）のみを選んだ理由は、いずれも全国紙であるため、提示される下位争点の種類自体には違いがないと考えられたからである。

補足3. 記事の解釈的要素をパッケージに集約するプロセスについて

記事から解釈的要素を記録し、それぞれの解釈的要素に共通する特有のキーワードをパッケージとして取り出す作業は、以下のような表を作成しておこなった。この表は朝日新聞126件のうち、最初の12件分を例示したものである。

表：下位争点抽出のための「2020年東京オリンピック招致」にかんする朝日新聞記事の例

No.	日付	掲載面	見出し	解釈的要素	パッケージ
1	2013年8月2日	4 総合	首相動静 1日		
2	2013年8月2日	1 社会	麻生副総理、失言何度目ですか 「影響を計算できない人」識者苦言 ナチス発言	・猪瀬都知事の失言、問題発言	
3	2013年8月4日	グローブ3面	グローブ116号<国際オリンピック委員会の素顔>五つの素顔・2 王室、アスリート、メンバーは多彩	・大会を牛耳るIOC委員	IOC、オリンピック委員
4	2013年8月4日	グローブ8面	グローブ116号<国際オリンピック委員会の素顔>日本人委員インタビュー：2 非常に強い仲間意識を実感 竹田恒和	・肥大化する大会 ・委員の仲間意識 ・招致成功のための活動	IOC、オリンピック委員
5	2013年8月4日	グローブ8面	グローブ116号<国際オリンピック委員会の素顔>五つの素顔・5 サロン感覚は時代遅れ 稲垣康介	・経済効果、インフラ整備	経済効果
6	2013年8月4日	グローブ2面	グローブ116号<国際オリンピック委員会の素顔>五つの素顔・1 三つの思惑が絡み合うパワーゲーム	・肥大化する大会 ・大会を牛耳るIOC委員	IOC、オリンピック委員
7	2013年8月4日	グローブ6面	グローブ116号<国際オリンピック委員会の素顔>五つの素顔・4 IOCの歴史が詰まった街 スイス・ローザンヌ	・大会を牛耳るIOC委員	IOC、オリンピック委員
8	2013年8月4日	グローブ8面	グローブ116号<国際オリンピック委員会の素顔>日本人委員インタビュー：1 もっと外交術を磨かないと 猪谷千春	・パワーゲーム ・大会を牛耳るIOC委員	IOC、オリンピック委員
9	2013年8月7日	オピニオン2	(声) パラリンピックにもっと注目を		
10	2013年8月7日	スポーツ2	トルコ陸上31選手、処分 薬物問題、五輪招致に影響も		
11	2013年8月8日	スポーツ3	(招致の足元：上) 五輪と復興、見えない絆	・五輪は被災地復興につながるか	復興
12	2013年8月8日	4 総合	アベノゴリン、招致全力 開催地決定まで1カ月、特需期待	・五輪の経済効果	経済効果

補足4. 「アクター」変数について

本研究ではアクター分析をおこなわなかったが、マルチモード変数（記者・キャスターの

表情など)の記録に関係するため、本編内でアクター変数の説明をおこなった。これらアクターを記録した理由は、後に言説分析の実施を見据えるためである。

補足5. コーディングの信頼性について

コーディングの信頼性を見積もるため、筆者らとは異なる者1名にコーディングを依頼し、一致度を検証した。この1名は筆者らと同じ研究室に所属し、本研究の策定には関与した履歴のない者である。このコーダーに最初にコーディング・マニュアルを渡し、コーディング法を把握してもらった。また、調査対象期間のうち、2013年9月6日と9月9日の2日を除いた8日分の我々のコーディング結果を渡し、それを用いてコーディングのトレーニングをするよう指示した。トレーニング後、9月6日と9月9日¹のコーディングをさせた。ただし、アクターについてはコーダーによって差異が生じるものではないため、我々の記録したアクターをそのままコーダーに開示した。また、我々の記録したテーマ単位(本編2.3参照)の区切りもコーダーに開示した。すなわち、コーダーはテーマ単位をどこで区切るかは判断せず、我々と同じ区切りを用いた。この2日に含まれるテーマ単位数は100(ニュースウォッチ9に30、NEWS ZEROに22、報道ステーションに25、NEWS23に23)あり、コーダーは各単位の下位争点変数と評価変数を判断して記録した。同様に、記者・キャスターの表情変数および声のトーン変数を記録する箇所はそれぞれ91(ニュースウォッチ9に26、NEWS ZEROに28、報道ステーションに17、NEWS23に20)あり、コーダーは両変数を判断して記録した。テロップについては数が多く、番組を視聴しながら以上の変数と同時に記録することが困難であったため、今回の検証からは除外した。コーダーはこれら一連の作業を始めてから終わるまで、我々とはコーディングにかんするやりとりを一切おこなわなかった。これは、コーダーが我々から独立してマニュアルにのみ依拠してコーディングをおこなうためである。

我々とこのコーダー1名の一致度をみるため、Krippendorffの α を計算した。結果を以下の表に示す。信頼区間はBootstrap法によって見積もった²。Krippendorffの α の値には決まった基準があるわけではない。ただし、クリッペンドルフ(1989)は α が0.80以上で確かな結論を、0.67以上で仮の「用心深い」(クリッペンドルフ1989、p.229)結論を、下してよいだろうという見解を紹介している。この基準を考えると、下位争点変数と評価変数については一定の信頼性が確認できたといえる。一方、記者・キャスターの表情変数および声のトーン変数については信頼性が下がる結果となった。ただし、95%信頼区間の中では0.67を超える領域にかかっているため、本編ではその程度の信頼性は得られたものとして、下位争点変数、評価変数とともに結果を示すこととした。テロップ変数については今回は検証し

¹ この2日は2020東京オリンピック招致にかんする放送時間の最も多いところである。

² Krippendorffの α の信頼区間をBootstrap法で見積もるRスクリプトを以下のサイトで公開している：
<https://semi.on-w.com/download>

なかったが、変数の性質からは評価変数に準じた α になるものと推察する。

表：我々とコーダー1名の Krippendorff の α 係数

変数	尺度	α 係数	95%信頼区間
下位争点	名義	0.91	0.84--0.96
評価	順序	0.70	0.52--0.83
記者・キャスターの表情	順序	0.56	0.38--0.71
記者・キャスターの声のトーン	順序	0.56	0.38--0.70

補足6. 表8の放送時間順位を下位争点ごととした扱いについて

本編の表8では、各番組で下位争点ごとにP・NT・Nの3つを放送時間で順位づけ(1~3位)した。順位付けには別の方法も考えられる中でこの方法を採用した理由を以下に述べる。

順位付けには別の方法も考えられる。それは、下位争点ごとにはせず、番組ごとに6つの下位争点(「理由なき賛成」は除外)のP・NT・Nを放送時間で順位づけ(1~18位まで; 18=6下位争点×3評価・論調)し、Spearmanの順位相関係数を番組間でとるという方法である。しかし、この方法では下位争点の放送時間(焦点形成レベルの状況)に影響を受けることになる。たとえば、ある下位争点の放送時間が40分、別の下位争点の放送時間が4分の場合、その中でP・NT・Nへの割り振りが多少変わったところで、40分の下位争点に属するP・NT・Nの順位が高くなりやすい。つまり、評価レベルを焦点形成レベルから切り離して調べることはできなくなる。そのため本研究ではそのようにせず、下位争点ごとにP・NT・Nを集計した。

補足7. コーディング・マニュアル

1. はじめに

このマニュアルをよく読んでからコーディングをおこない、シートに記入してください。作業を進める際は、シートの日付と番組の放送日が合っていることを確かめてください。作業途中で分からなくなったときは、その都度、このマニュアルを読み返してください。

2. 分析対象

分析対象は次の4つのテレビ番組です。

- ニュースウォッチ9 (NHK)
- NEWS ZERO (日本テレビ)

- 報道ステーション (テレビ朝日)
- NEWS23 (TBS テレビ)

対象期間：2013年9月2日（月）から13日（金）の、土を除く10日間。

3. コーディング

コーディングシートの横線の区切りごとに、1つの場面³として区切っています（下図参照）。その場面ごとに、以下に説明する6つの変数を記録していただきます。実際のシートでは、記録してもらいたい部分に薄青の背景色をつけてあります。

time	rap	テキスト	テロップ	アクター	争点	争点 P/N/NT	モード	表情	声の トーン	テロップ
2013/9/2										
0:57:40			場面(1単位)					表情	声の トーン	テロップ
0:57:45	0:00:05	さあ、2020年のオリンピックとパラリンピックです。開催都市が決まる日本時間8日まであと6日となりました。		キャスター	IOC総会	P	P	P		
0:58:18	0:00:33	こちらは決定の舞台、IOCの総会が開かれるホテルです。入口ではすでにセキュリティチェック。緊張感も高まってきました。取材の拠点となるプレスセンターは700人を収容。世界が注目するビッグイベントです。	ホテル入口にはセキュリティチェック報道に備え、プレスセンター							NT
0:58:25	0:00:07	「準備はできている。立候補3都市のプレゼンテーションと投票が楽しみ」		IOC委員						
0:58:31	0:00:06	東京からは、今日、猪瀬知事が、今夜ですね。到着する予定です		キャスター	理由なき賛成	P	P	P		
0:58:35	0:00:04	楽しみですね。		キャスター			P	P		
2013/9/4										
0:49:25										
0:49:36		さあ、2020年の東京オリンピックパラリンピックが決まる、IOCの総会まであと4日になりました。		キャスター	IOC総会	P	P	P		
0:49:47		東京の招致委員会のメンバーが会場まで歩いて向かっています。これから本番に向けた公式リハーサルに臨みます。		記者	IOC総会	NT	NT	NT		

テロップがあれば記録

記者・キャスターに対してのみ記録

【変数1】アクター（場面ごとに記録、7カテゴリ、複数選択）

番組内で何かしらの発言をする人をアクターとします。該当場面に登場するアクターが以下の7つのどれに当てはまるかを選び、その種類を記録してください。複数のアクターが登場する場合は、登場するアクターの種類をすべて記録します。また、記者とキャスターに限り、登場する人物ごとにその種類を記録してください。

① IOC委員

IOC委員、日本招致団メンバー・関係者、イスタンブール・マドリードの招致団メンバー・関係者

※安倍首相、竹田理事長、猪瀬都知事も含みます。

³ 1つの場面は争点1つのみからなるテーマ単位（クリッペンドルフ1989）となっています。

② 専門家

〇〇大学教授、①に含まれない政治家、コラムニスト

※キャスターの隣に座る有識者や解説者、コメンテーターも含まれます。

※海外メディアの編集長、海外ブックメーカーの広報はここに分類してください。

一方、海外記者は⑦その他に分類します。

③ 一般市民

街頭でインタビューを受ける市民、一般企業の広報担当・店員、ボランティア、海外から来た観光客、海外でインタビューされる海外市民

④ 記者

スタジオの外から現場リポートする者（日本人記者に限る）

※番組キャスターが街頭取材・現地リポート等をしている場合、⑤キャスターに分類してください。

⑤ キャスター

スタジオで原稿を読む人（アナウンサーも含む）

※以下の人々はキャスターに分類します（各番組HPより）：

◇ ニュースウォッチ9： 大越健介、井上あさひ、廣瀬智美

◇ NEWS ZERO： 村尾信尚、山岸舞彩、**右松健太**、**菅谷大介**

◇ 報道ステーション： 古館伊知郎、小川彩佳、竹内恵美

◇ NEWS23： **岸井成格**、膳場貴子、出水麻衣、**高橋尚子**

※キャスターが街頭取材・現場リポートをする場合もここに分類します。

※専門家や記者に分類してしまいそうな**太字**の方々には注意してください。

⑥ ナレーター

上の④⑤ではないナレーション担当、声だけの出演

※画面に映らない場合でも、前後の場面から声が、記者・キャスターと判断できる場合は、④または⑤へ分類してください。

⑦ その他

上の①～⑥に該当しない者（招致メンバーでないスポーツ選手、海外メディアの記者など）

※佐藤真海選手の友人、行きつけの飲み屋の店員、担当教授などはここにしてください。

※西織圭選手、室伏広治選手はここに含まれます。

【変数2】争点（場面ごとに記録、7カテゴリー、単一選択）

該当场面の争点が以下の**7つ**のどれに当てはまるかを判断し、争点名を記録してください。

① I O C 総会

ライバル都市の招致団の動向を除く、I O C 委員や日本招致団メンバーに関わる話題すべて

※プレゼンに向けての動向、プレゼンの内容、ロビー活動、開催地決定の票読み予想、投票の仕組み、決定日時など。

※**オリンピックの意義、東京でオリンピックを開催する意義**を含みます。

※猪瀬都知事・安倍首相・太田雄貴選手・滝川クリステルさん・佐藤真海選手ら招致団メンバーのプレゼン内容や、会見、凱旋帰国、報告会も含みます。

※ただし、例えば佐藤選手の生い立ち・ゆかりの人々へのインタビュー等、**招致団メンバーが出ていても、招致自体に関わらない内容のものは⑦その他に分類**します。

② ライバル都市

イスタンブール、マドリードの招致団の動向

③ 原発問題

汚染水問題含む、福島第一原子力発電所に関わる話題すべて

※汚染水対策に関して国会を開くべきか否かという話題もここに分類します。

④ 経済効果

オリンピック招致により舞い込む経済効果に関する話題すべて

※インフラ面、新たな街づくり、商品開発など企業のビジネスチャンスの拡大、株価の上昇など。

※**バリアフリー化、災害に強い街づくり、地震対策**に関する言及も、街づくりの一環と考え、ここに分類します。

※アベノミクス、政権運営への影響に触れるものもここに分類します。

※各競技場の改修や、改修前の競技場ツアー、オリンピック開催時のチケット値段予想に関わる話題もここに分類します。

⑤ 被災地

被災地についての話題と課題、被災地への思い・期待

⑥ 理由なき賛成

場面内で、特に理由・根拠なく招致を盛り上げ、東京招致に期待する発言

※「週末はこの話題で持ちきりになりそうですね」「ドキドキしながら…」「楽しみですですね」

※「(前回の)あの感動がよみがえります」「夢を与えますから、東京に決まるといいなと思います」「(決まるまで)気が気でないですよ」「…最高のコンディションで迎えたいですよ」

※「東京でオリンピック、ぜひ見たいですよ」「プレゼン頑張ってください」

※「間近で見ると感動がより味わえますよね…」「(もし東京に決まったら)出られ

る選手は幸せですね」「はたして再び聖火は東京に灯るのでしょうか」

⑦ その他

上の①～⑥に当てはまらない話題・争点

※日本文化の「おもてなし」そのものの意味を改めて考えるもの。

※IOC 委員らに招致に直接関わらない話題をふっているもの。例えば、佐藤真海選手の、自らの半生やゆかりの人々との交流についての話。また、猪瀬知事に「走っていらっしゃいますね…」、「現地時間は何時で…」という話。

【変数 3】評価（場面ごとに記録、3 カテゴリー、単一選択）

該当場面において、選択した争点からみた東京オリンピック 2020 の招致に関する評価・態度を以下の 3 つのいずれかで判断し、記録してください。**登場人物の表情や声によらず、内容で判断**してください。

① ポジティブ評価（P）

選択した争点において、東京オリンピック 2020 の招致に関して、賛成、好意的、楽観的展望、期待を込めたもの、と受け取れるもの。招致を期待し、日本がすべきことを述べているもの。

※「争点」変数を「⑥理由なき賛成」としたものはすべて「P」に分類します。

※ライバル都市の弱点、問題点について触れたもの（日本に有利な情報のため）。

※日本招致団が東京招致に向けて尽力していると捉えられるもの。

※招致団の前向きな表情や発言、準備周到な様子が分かるもの。「あとは力を出し切るだけ」「自信を持って言えます」などの表現。

※日本がプレゼンで、どんな点を主張すればいいのか、日本が打つべき手について言及するもの。例えば、**原発問題が該当場面の争点だとしても、日本が何らかの対応・処置をとって不安払拭に努めていることが分かる**もの。また、日本政府や招致団の対応を認めたり、評価したりする表現。

（例1） 招致委員会の竹田理事長は、先月、IOC 委員らに不安払拭のための手紙を送った。「東京招致委員会がしっかり説明していて、IOC 委員も納得している。オリンピックが開かれるのは今でなく、2020 年だから。私の耳には、不安の声は誰からも入っていない。」東京招致に及ぼす可能性は低いと話す。

（例2） 「安倍総理が福島原発に関して完全にコントロールされていると言ったことに関して、私、当初の印象と変わりがまして、良く言ったと捉えようとしています。これは国際公約になったわけですから。」

② ネガティブ評価（N）

選択した争点において、東京オリンピック 2020 の招致に関して、反対、否定的、疑問視、不安、と受け取れるもの。

(例3) 「…遅いんじゃないでしょうか。福島原発の汚染水の問題の深刻さと、国会のテンポとの間にギャップがありすぎます。すぐ(国会を開いて)開いて頂きたいと考えますが。」

※ライバル都市が招致に向けて尽力していると捉えられるもの、ライバル都市の前向きな表情や用意周到な様子が分かるもの・コメント(日本に不利な情報のため)。

③ ニュートラル評価 (NT)

選択した争点において、東京オリンピック 2020 の招致に関して、中立的なもの。ポジティブとネガティブの両論併記のもの。

※東京とライバル都市を同程度ずつ扱い、混戦極まる様子を示すもの。

(例4) どの都市が招致を勝ち取れるか、という話題の中で…「マドリード…」「東京かマドリード…」「正直分からない…」「マドリードが最有力…、最終プレゼンにかかっている。日本はまだ勝つチャンスがある」 運命の瞬間まであと〇〇時間だ。

※事実だけを述べるもの。

(例5) 「リハーサルは今夜行っているマドリードも含め、3つの都市が2回ずつ行いIOC総会に備えます。」

(例6) 「最終プレゼンテーションは日本時間の7日夜。…午前5時ごろ発表される」

※1つの場面内で両論併記と捉えられるもの。

(例7) 「汚染水問題が五輪招致の不安材料。無視して通れないですね」「最後のプレゼンでどれだけ払拭できるかが争点」「安心材料を提起できればいいですね」(順に、ネガティブ、ポジティブ、ポジティブ)

【変数 4】 記者・キャスターの表情 (アクターが「記者」「キャスター」のときのみアクターごとに記録、3 カテゴリー、単一選択)

該当場面内で、アクターを「記者」「キャスター」だとした部分についてのみ、話す表情を確認できる場合に限って、その表情を以下の3つのいずれかで判断し、記録してください。そのような「記者」「キャスター」が場面内に複数人いる場合は、それぞれについて判断し記録してください。話している内容などではなく、表情だけで判断します。

① ポジティブ評価 (P)

笑顔と判断できるもの。口角が上がっている、表情が緩み目じりが下がっているなど

のもの。

② **ネガティブ評価 (N)**

険しい表情と取れるもの。眉間にしわを寄せている、首を横に振っている等のもの。

③ **ニュートラル評価 (NT)**

「P」でも「N」でもないと思うもの。笑顔ではないが、厳しくなく、落ちついた表情のもの。

【変数 5】 記者・キャスターの声のトーン (アクターが「記者」「キャスター」のときのみ
アクターごとに記録、3 カテゴリー、単一選択)

該当場面内で、アクターを「記者」「キャスター」だとした部分についてのみ、話す声を確認できる場合に限って、その表情を以下の3つのいずれかで判断し、記録してください。そのような「記者」「キャスター」が場面内に複数人いる場合は、それぞれについて判断し記録してください。**話している内容などではなく、声のトーンだけで判断します。**

① **ポジティブ評価 (P)**

弾んだ声色をしているもの。声が高く感じ、期待感や好意的な様子が伝わるもの。

② **ネガティブ評価 (N)**

語気を強めているものなど、声のトーンから不安感や疑問視する様子が伝わるもの。

③ **ニュートラル評価 (NT)**

「P」でも「N」でもないと思うもの。落ち着いた調子で語っているもの。

【変数 6】 テロップ (テロップごとに記録、3 カテゴリー、単一選択)

該当場面内で、画面中央下に表示されるテロップを対象にします。ただし、アクターの会話をそのまま書き起こしたテロップと、名前・年齢・場所等を単独で表示したものは除きます。対象となるテロップの**東京オリンピック 2020 の招致に対する評価・態度**を以下の3つのいずれかで判断し、記録してください。そのようなテロップが複数ある場合は、それぞれについて判断し記録してください。判断の基準は**【変数 3】**の「評価」変数と同じです。ただし、**前後の流れやアクターの話し方などは含めず、テロップの内容だけで判断します。**

① **ポジティブ評価 (P)**

東京オリンピック 2020 の招致に関して、賛成、好意的、楽観的展望、期待を込めたもの、と受け取れるもの。招致を期待し、日本がすべきことを述べているもの。

(例8) 「いよいよ最終決戦」「凱旋会見」「日本中が一体となって」「…まで、あと○日」「…まで、あと○時間あまり」

※日本がプレゼンで、どんな点を主張すればいいのか、日本が打つべき手について言及するもの。例えば、**原発問題が該当場面の争点だとしても、日本が何らかの対応・処置をとって不安払拭に努めていることが分かるもの**。また、日本政府や招致団の対応を認めたり、評価したりする表現。

(例9) 「IOC 委員らに**不安払拭のための手紙送る**」

※ライバル都市の弱点、問題点について触れたもの（日本に有利な情報のため）。

(例10) 「反政府デモ シリア内戦」

② ネガティブ評価 (N)

東京オリンピック 2020 の招致に関して、反対、否定的、疑問視、不安、と受け取れるもの。

(例11) 「東京の**不安要因**を IOC 委員に直撃」

※ライバル都市が招致に向けて尽力していると捉えられるもの、ライバル都市の前向きな表情や用意周到な様子が分かるもの・コメント（日本に不利な情報のため）。

(例12) 「イスタンブールの秘策は」「マドリード：官民一体となった厚いサポート」

③ ニュートラル評価 (NT)

東京オリンピック 2020 の招致に関して、中立的なもの。ポジティブとネガティブの両論併記のもの。「P」でも「N」でもないと思うもの。

※事象だけ、もしくは、場所などの単語だけを示すもの。

(例13) 「9月7日の IOC 総会で 2020 年オリンピックを決定」「経済効果」「ロビー活動」「住宅展示場」「G20 から IOC 総会へ 2泊6日 安倍総理の弾丸ツアー」「衆院経産委員 現地視察へ」

※両論併記のもの。

(例14) 「東京の招致関係者 汚染水問題について『不安だ』との声も。質疑応答で聞かれた場合がポイントか」(第1文がネガティブ、第2文がポジティブ)